

EA157DF-2(1/2"エアラチェットレンチ)取扱説明書

Ver1.1

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

 警告	誤った取扱いをした場合、死亡や重傷を負う恐れがあります。		
 注意	誤った取扱いをした場合、軽傷や財産の損害を負う恐れがあります。		
	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

 警告			
 必ず守る	・使用時はゴーグル、マスク、手袋、耳栓等の保護具を着用する。 ・使用圧力を守り、使用する。		
 禁止	・高圧ガス(酸素、アセチレンガス等)を動力としない。 爆発の危険があります。エアコンプレッサーによる圧縮空気を使用してください。 ・爆発の危険性がある環境下では使用しない。 ・使用中は可動部に触らない。 手が触れると怪我をする恐れがあります。 ・無理な体勢で使用しない。 ・長時間の連続使用をしない。 騒音による難聴の恐れ、振動などにより疾病や腱鞘炎になる恐れがあります。 ・電気に接触させない。 エアーツールは絶縁されていません、感電の恐れがあります。 ・投げたり落したり衝撃を与えない。 事故や故障の原因となります。 ・指定された用途以外では使用しない。		
 分解禁止	・分解や改造はしないで下さい。 製品の破損や使用中の事故につながるおそれがあります。		

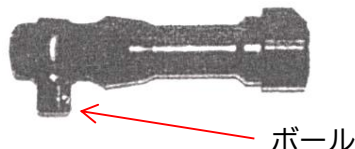
 注意	
 必ず守る	・作業前には、各部を点検し損傷、異常がないか確認をする。 ・インパクトソケットの取付交換時、作業終了時、エアーツールの運搬時、異常を感じた場合はスイッチを切り、エアホースを外した状態にする。
 禁止	・使用時は、照明をつけるなど明るい環境で行い、暗所では使用しない。 ・子供が触れる場所には置かない。

■各部名称



◆先端工具の取り付け方

使用目的に合った先端工具（ソケットなど）を差込角に差し込んでください。
※ソケットが脱落しないようにスクエアアンビルのボールがソケットの穴に合うようにしっかりと奥まで差し込んでください。
エクステンション、ユニバーサルジョイントをご使用の際も同様です。



◆使用方法

- ①吸入口に雄ねじプラグを取り付けます。
- ②差込角に先端工具を取り付けます。
- ③エアホースを接続します。
(接続する際はスイッチレバーから手を離してください。)
- ④スイッチレバーを押し、先端が回転することを確認します。
- ⑤スイッチレバーを離し、先端の回転が停止することを確認します。
※スイッチレバーを離してもすぐに回転は停止しないので注意してください。



F…正回転
R…逆回転

◆回転方向の変更方法

正逆転切替つまみを操作して変更します。
正逆転切替つまみをF側に回すと正回転、R側に回すと逆回転します。

◆仕様

- 全長…261mm
- ヘッド幅…41mm
- 厚み（差込角含む）…42mm
- 重量…1.2kg(本体のみ)
- 使用トルク…7～95N・m
- 最大トルク…108N・m
- 正逆転スイッチ
- ラチェットヨークは、クロームモリブデン合金製
- 排気口は360° 方向を調整できます。
- 騒音値…102dB(A) ISO15744
- 能力(ボルト径)…12mm
- 差込角…1/2"
- 無負荷回転数…200rpm
- エアー消費量…92L/min
- 使用圧力…0.64MPa
- 使用コンプレッサー…2.2kw
- 使用エアホース内径…8mm
- 吸入口…1/4"NPT(PT)（プラグ付）
- 三軸合成値…3m/s² ISO28927-1

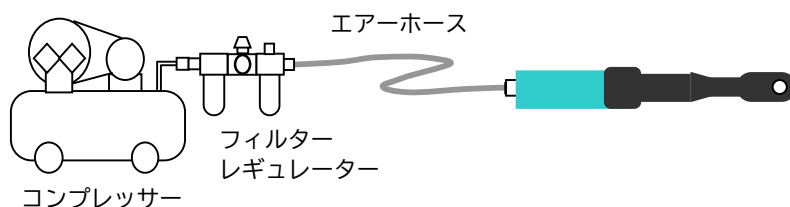
◆騒音について

- ・ご使用中、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等で定める騒音規制値以下で使用して下さい。
必要に応じて、防音壁等で遮音処置を取して下さい。

◆操作方法

- ・圧 力…0.64MPa前後で使用して下さい。高すぎると能力はアップしますが、寿命を縮めます。
低すぎると能力が低下します。
- ・エアー…コンプレッサー、配管内のごみや水分を除去する為、フィルター又はドレン等を取り付けて下さい。
ごみが内部に入ると故障の原因となり、水分が入ると錆の原因となります。
- ・給 油…ご使用前に吸入口より5～6滴スピンドル油（ISO VG 10）を必ず給油して下さい。

・接続例



【保管・メンテナンス】

- ・乾燥した場所に保管してください。（湿気があるとサビが発生する場合があります。）
- ・ゴミや異物が侵入しない様にし、取扱説明書と一緒に保管してください。
- ・サビと摩耗を防ぐ為、ご使用前に注油口より注油して下さい。
（ISO VG10のエアーツールオイルを数滴たらす）
- ・使用状況に応じて、定期点検をして下さい。

<振動工具の三軸合成値について>

仕様欄に数値を記載しています。

日振動ばく露量A(8)は、厚生労働省の下記サイトで 求めることができます。

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-2a.pdf>